

# 敦賀発電所 1号機廃止措置

## 圧縮減容装置設置工事 詳解

日本原子力発電株式会社  
令和5年3月

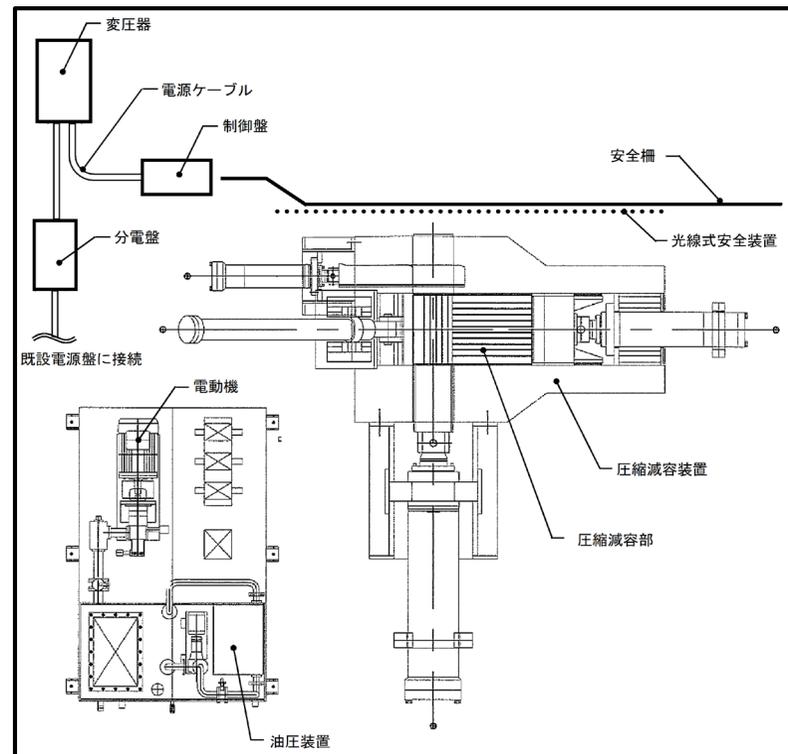
## ○工事件名

圧縮減容装置設置工事

## ○対象施設・設備名称

放射性廃棄物の廃棄施設  
 固体廃棄物の廃棄設備  
 圧縮減容装置（※）

（※） 廃止措置工事等に伴い発生した放射性廃棄物を収納したドラム缶を、3方向から圧縮することで約3分の1に減容する装置



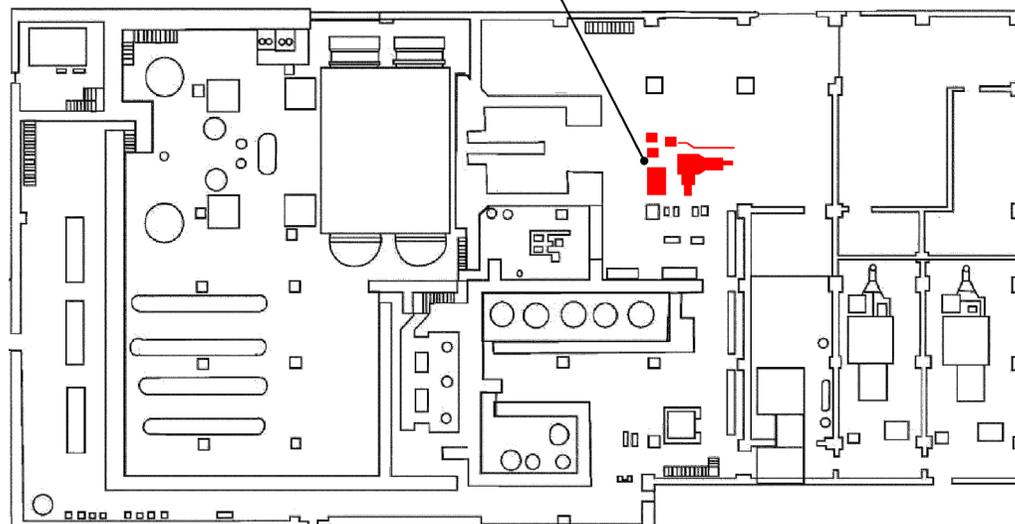
## ○工事場所

【建屋名称】

タービン建屋 1階

【管理区域／非管理区域の別】

全て管理区域



## ○工事内容

### (1) 工事概要

放射性固体廃棄物処理に用いる圧縮減容装置の設置工事を実施した。

### (2) 実施内容

- ・タービン建屋 1 階タービン補機冷却系熱交換器の解体撤去場所に、廃止措置工事等に伴い発生した放射性廃棄物を圧縮減容する圧縮減容装置を設置した。
- ・設置工事に伴い発生した放射性固体廃棄物は、ドラム缶等に封入して固体廃棄物貯蔵庫等に保管した。
- ・設置工事に伴い発生した放射性固体廃棄物でない廃棄物と判断できた廃棄物は、産業廃棄物処理を行った。

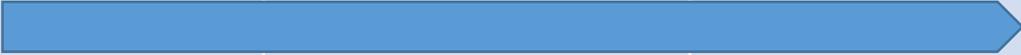


設置前



設置後

## ○工事工程

作業内容	令和3年度		
	1	2	3
準備・片付け	 着工日 R4.1.11		 完了日 R4.3.25
圧縮減容装置の設置			

## ○工事方法

### (1) 工事の手順・工法の概要

- ①工事に必要な資機材を搬入し、作業エリアの設定、養生を実施した。
- ②圧縮減容装置設置場所の床面の表面研りを行い、モルタル充填により水平になるよう加工を実施した。
- ③圧縮減容装置を搬入し、設置場所への据付けを実施した。
- ④圧縮減容装置に電源ケーブルの接続を実施した。
- ⑤模擬廃棄物を用い、圧縮減容装置による圧縮減容試験を実施した。
- ⑥工事で使用した資機材の片付けを実施した。



模擬廃棄物（圧縮試験前：蓋閉め前）



模擬廃棄物（圧縮試験後）

## ○安全対策

### (1) 放射線管理

#### 拡散防止対策

- ①圧縮減容装置の設置にあたっては、作業エリアの管理区域区分を適切に設定した。
- ②作業にあたっては、作業エリアの管理区域区分に応じた作業区画を資機材にて設営、必要に応じグリーンハウス（汚染拡大防止囲い）を設置、仮設換気装置（局所フィルタ、局所排風機等）を使用し、汚染拡大防止を図った。

### (2) 安全確保対策

#### 事故防止対策

- ①クレーン等の揚重設備を使用する時は、対象重量に対して吊上げ重量が満足していることを確認した。また、建屋や維持している設備を損傷させないよう周囲の状況を確認し、的確な玉掛け、合図を行った。
- ②火気作業における火災防止対策および危険物取扱作業における火災に対する防護、管理を実施した。
- ③電源類ケーブル端末処理を確実に実施した。

## ○放射性廃棄物・解体廃棄物の管理・処理処分

廃棄物の区分	発生量（内訳等）	管理・処理処分の方法
放射性廃棄物	約1.3トン	ドラム缶等に封入して固体廃棄物貯蔵庫等に保管
クリアランス物	—	—
NR・産業廃棄物	約0.3トン	産業廃棄物として適正に処分

放射性廃棄物は固体廃棄物貯蔵庫に保管

